

2011 年度 釜山大学サマープログラム報告書

旭川校 社会科教育専攻 長谷川 孝雄

1 はじめに

8月8日から8月27日の3週間、釜山大学で行われた「釜山大学サマープログラム」に参加しました。私は海外に興味があり、長期の休みを利用して留学したいと考えていたため、このプログラムに応募しました。定員が本校から1名程度だったので参加することは無理だろうと思って応募しましたが、参加することができました。

プログラムの内容は平日に韓国語や韓国の文化の授業があり、週末にはフィールドトリップがありました。授業後や休日は自由に行動しました。

2 韓国語の授業

韓国語の授業は平日に行われ、午前中は9時から12時までで午後の授業があるときは14時から16時まででした。クラスは初級と中級に分かれていて、私はほとんど韓国語の勉強をしていなかったため初級クラスを受講しました。初級クラスの授業は自己紹介やハンゲルの読み書きから始まりました。この頃までは先生が英語で説明してくれていましたが、だんだん英語での説明が少なくなり、最終的にはすべて韓国語で説明していました。授業を理解するためには、ある程度の韓国語の勉強が必要です。初級クラスはただ座って授業をするのではなく、歌を唄ったり、踊ったり、班で大学周辺の地図を作ってカフェで授業をするなどの様々な工夫がされていて、とても楽しい授業でした。



授業の様子 すべてハンゲル

3 韓国文化の授業

韓国文化の授業は週に1回あり、「Enjoy K-pop」「ハンボック(伝統衣服)」「伝統料理作り」を体験しました。Enjoy K-popでは釜山大学のダンスサークルの学生にダンスを教えてもらい、韓国で流行りの曲を踊りました。歌や踊りは言葉が通じなくても楽しめることをこの授業で感じました。文化体験の授業は説明が英語のため、すべてを理解することはできませんでしたが、言葉がわからなくても実際に体験することで韓国の文化を感じることができました。



ハンボックを着て記念撮影

4 フィールドトリップ

フィールドトリップでは韓国の企業訪問とウォータerparkへ行きました。企業訪問では POSCO と現代自動車へ行き、世界を引っ張っている企業だけあって勢いを感じました。韓国の工場を見学する機会などないため、とても貴重な見学となりました。

現代にて高級自動車と→



5 寮での生活

私は大学内にある寮で 3 週間を過ごしました。各部屋にそれぞれエアコン、シャワー・トイレがあり、パソコンを持っていけばインターネットを使うことが出来るなど快適に過ごせます。また、寮内にインターネットが使えるパソコン室やコンビニがあるなど、何も不自由のない寮生活を送ることが出来ました。しかし、寮内は快適ですが、場所が山の上にあるため寮への行き来が大変でした。正門に行くまでに 15 分はかかります。坂の傾斜がきついため寮に帰るのも一苦勞でした。

部屋は 2 人部屋で私は中国人の参加者と一緒の部屋でした。最初はあまり話せずにはいましたが、お互いに慣れてきてからは遅くまで話していました。彼はとても日本語に興味があり、時間があれば日本語を教えてほしいと言ってきました。そんな彼の熱心な姿勢に私はとても刺激を受け、私も頑張らないといけないと感じました。



↑寮の部屋

6 自由時間

授業が終わった後や週末は各自自由に過ごすことができる時間でした。多くの方はバスや地下鉄を利用して釜山市内を観光したり、買い物をしていたようです。休日にはソウルまで行く人もいました。私は週末に中国人のルームメイトと 2 人で梵魚寺へ行きました。行く途中で道に迷い、少し喧嘩をすることがありましたが、おばさんや警察で道を聞くなど多くの人に助けられて無事に着きました。この日は 1 日中ずっと日本語を話さないなど貴重な経験が多くできた日となりました。他にもサッカーと野球の試合を観戦しに行ったりと自由時間を有意義に過ごすことが出来ました。

また、週末にはオプションとして済州島観光とホームステイがありました。私は済州島観光に参加しました。済州島は自然溢れる島で同じ韓国でも釜山と全然違う景観でした。



済州島のビーチにて



無事にたどり着いた梵魚寺



観客の少ないサッカースタジアム

7 おわりに 次回参加する方へ

今回このプログラムに参加して本当に多くの刺激を受けました。特に勉強に対する姿勢が1番刺激を受けました。ルームメイトの日本語を勉強しようとする姿勢や教えてもらったことをすぐにメモ帳に書き留める人を見ると自分も負けていられないという思いが湧いてきました。食事などの時に外国の方が隣や周りにいた時に上手く話せなくてももっともっと積極的に話しかけていけばよかったと思っています。英語は世界共通語であることを身をもって実感したので頑張って勉強していきたいです。

このプログラムに少しでも興味を持っている方がいたら是非応募してみてください。自分自身が成長できるきっかけとなるはずです。

最後になりましたが、学務グループや釜山大学などこのプログラムの運営に関わったすべての方に感謝申し上げます。



すべて靴下です



釜山大学正門にて



修了証書授与